



国民の伝統食  
蕎麦を愉しむ 十割そばに挑戦

そばは単純な食べ物であり、華やかでなく地味な食べ物である。しかるに昨今そば打ちが静かなブームを呼び、男達はその魅力のとりこになっている。

1、はじめに

1995年:上和田の地に地域起こしとして十割そばが誕生した。福島県の山都町で修行。十割そばは大変評判が高く1998年、上和田蕎麦を農協の施設に開店。上和田十割そばとして誕生。私もこの蕎麦の試食会に招かれて蕎麦打ちにはまる。「包丁三日、伸ばし三月、木鉢三年」と言われるが、私自身は蕎麦打ちは25年に及ぶ。間もなく1000回、600キロほど打つ見通しか。

2、蕎麦の歴史と風土

- ・縄文時代の記録にあり(九州～北海道まで)中国～朝鮮～日本へ(僧侶の食べ物)
- ・蕎麦には残存肥料を吸収、土地を浄化する作用裏作の後に栽培された
- ・昔から「75日過ぎたら見ないでも刈れ」と言われた。播種後75日で刈る
- ・玄蕎麦の保管方法も最近が発達した。それによって旨味も増した。
- ・玄蕎麦の劣化を防ぐため、雪室(飯豊町)、寒ざらし蕎麦などは今もある。
- ・生産高・北海道43%、長野9%、栃木、茨木、山形の順(2020年)

山形は「最上早生」が主流だったが、いまは「出羽かおり」主流

- 蕎麦の御三家:「更科」(白) 「やぶ」(緑) 「砂場」(黄)
- ・ご当地蕎麦: わんこそば、へぎそば、更科そば、板蕎そば、裁ち蕎麦(福島)

3、蕎麦屋における役割分担

- ・釜前(火加減と茹でる)・板前(蕎麦を打つ人)・中台(天ぷら等、種物づくり)

- ・花番(女の人で注文を告げる役)・他に板前の助っ人(揉みだし、伸ばし、包丁)

4、蕎麦とお酒

- ・江戸時代から蕎麦だけを食べて帰るのではなく、熱燗を軽く一杯やって蕎麦をサッと飲んで引き上げる、それが粋とされていたようだ。蕎麦屋は手軽に旨い酒が飲める場所であり、うなぎ屋と共に上等な酒を置いていた。
- ・「蕎麦前」・「中ほど」「箸洗い」と言った飲み方がある。江戸子が始めた飲み方。高島町は上等な酒の出る町だから、もっともっと蕎麦屋があっても良いと思う。

5、十割そばに挑戦

- 蕎麦を打ち始めた者が置く目標は十割そばである
- ・高島町の製粉は60%精選した「出羽かおり」が主力(ほぼ更科に近い)
  - ・そば粉は冷蔵庫で保管し12ヶ月を得ても品質の劣化はない。
  - ・つなぎは入れずに全く蕎麦十割のピュアな蕎麦が自慢(商用には不適)
  - ・業務用には「つなぎ」として大半は小麦粉を使用「二八そば」「外一」等々、地方に寄っては、海草・山芋・卵等などを使用、「うどん一尺そば八寸」

6、おわりに

…「それでいいのか蕎麦打ち男」  
(2005年:残間里江子著)

団塊世代に 喝！ 人生80年、まだまだ老けこむには早すぎる。「小さな幸せに」に引きこもるな！  
しかし諺に「芸は身を助ける」がある。

《メーカーアップ》

平 清美 君・長谷川春海 君・皆川 賢治 君  
井田 裕子 君

《出席報告》

会員数 45名 出席者数 20名 出席率 44.44 %  
前回修正45名 出席者数 32名 出席率 71.11 %



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT

6月  
2(木)日

会長 土屋 衛 幹事 島崎裕司 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島 911-2-2F tel 0238-52-5440・fax 52-5444

本日の例会 [2608 th] 2022. 6. 2

二井宿わくわくプロジェクト  
代表 神保一雄氏

前回の例会 [2607 th] 2022. 5. 26

会員卓話

鈴木 征 治 君

- ・点鐘12時30分 土屋 衛 会長
- ・県民歌 最上川
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ソングリーダー 木村健彦君
- ・S A A 大浦英樹君

会長あいさつ

土屋 衛 会長

本日は当クラブの知恵袋、鈴木征治会員の卓話となっております。先週に引き続きの登場です。素晴らしい卓話を期待しておりますが、先週お話しした名誉会員の件で本日午後1時半に新町長とアポイントが取れましたので大河原エレクト共々中座させていただきますことをお願いいたします。

先週メークで来訪されました白鷹RC所属の芳賀康雄君ですが、次年度ガバナーノミニーに選出されました。白鷹RCからは初のガバナー輩出となります。白鷹RCだけでは各種役員を揃えられないので近隣RCの協力を得ての立候補と聞いております。彼らの益々の活躍をお祈り申し上げます。

次年度大河原年度のガバナーは女性では山形県内初、鶴岡RC所属佐藤孝子君、鈴木司郎年度は山形北RC所属伊藤三之君、そして金子年度は芳賀君ということになります。

話は変わりますが、今朝ロータリー財団からウクライナ支援に対する感謝メッセージが届きました。内容ですが、世界各国から財団に1500万ドル(日本円換算で約19億2千万円)以上の寄付が寄せられ、ウクライナ国内のRC(62クラブ)を通じて災害救援補助金として活用しているというものでした。主な活動は、以下の通りです。医療物資並びに医薬品の購入、避難民への食事手配、避難民が新しい生活に

適応するための支援、避難そのものに対する援助、救援物資の配送等です。  
皆様の寛大なご支援に感謝申し上げます。  
それでは皆様ごゆっくりお食事をお取りください。

《幹事報告》

島崎 裕司 幹事

- ・山形南RC、山形RCより周年事業のお礼状が届いております。
- ・高島小学校より図書寄贈に対しての礼状をいただきました。
- ・新旧町長 退・就任の挨拶状をいただきました。

《委員会報告》

親睦活動委員会 平 清美 委員長

最終例会のご案内

- ・期日: 6月23~24日 18:30 点鐘
- ・場所: 秋保温泉「佐 勘」

スマイルBOX

- ・沖縄返還50周年。私はパスポートを携えて沖縄に行ってきました。  
鈴木 征治 君
- ・インターナショナルワインチャレンジという世界的なコンテストで弊社のスパークリングロゼがNo.1になりました。  
梅津陽一郎 君
- ・孫がサッカーで米沢選抜に選ばれました。  
高島町長にフェイスシールドを贈呈してきました。  
皆川 賢治 君
- ・息子が高校・大学とサッカーをしておりそのきっかけでコーチをしています。  
2人目の孫が生まれました。  
杉森 文昭 君

次回の例会 [2609 th] 2022. 6. 9

特別養護老人ホーム はとみね荘  
施設長 島崎 慎一 氏